

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞

第19号

2008年4月17日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm>

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



**原子力空母の配備が  
目前に迫る!**

米原子力空母『ジョージ・ワシントン』は4月7日(米東部標準時)、母港の米バージニア州ノーフォーク海軍基地を後にしました。演習に参加したあと、8月19日の入港をめざして、横須賀に向かっています。

## 52,417筆の署名が集まる!

「原子力空母配備の是非と市の安全対策」についての住民投票条例の制定を求める直接請求署名は、請求に必要な署名数の実に7.4倍の52,417人分を集約。条例請求署名は4月11日に市選挙管理委員会に提出され、6月に市議会で審議される予定です。目標の6万には届きませんでしたが、前回は一万筆余も上回ったことは「原子力空母の配備と安全性」に市民が心から強く深い関心と意見を持っていることを改めて示しました。

横三労連では、署名期間中の全日曜と祝日に統一行動を設定し、全県からの支援を受けて毎回20~40名弱で行動、1日で集約した署名が200筆を越えた日が2回あるなど、前回は3倍近く上回る署名を集約しました。統一行動に参加した支援者からは、「こんな運動は初めて参加しました。寸暇を惜しんで最後まで支援します。」との声が寄せられています。

## タクシー運転手殺人事件 緊急抗議集会を開催!

3/19に発生したタクシー運転手殺人事件は、米軍の脱走兵が逮捕され、また被害者が自交総連の組合員であったことから、全労連傘下の組合員に新たな怒りを呼び起こしています。

上の写真は、4/14に開催された緊急抗議集会で、200人が参加しました。また当日は、国際宇宙ステーションが上空を通過するのが見えました。

一方、98年8月以来横須賀を母港としている通常型空母「キティホーク」は、4月15日午前8時ごろ、訓練航海のために日米海軍横須賀基地を出港しました。これが退役前最後の航海となります。

在日米海軍などによると、キティホークは5月中旬ごろ基地にいったん戻る予定で、5月下旬に最終的に日本を離れ役割を終えるそうです。

## 「今そこユニオン」を見ました!

神奈川労連は、3月29日に「地域労組づくり交流会」を開催しました。「今そこユニオン」とは、全労連が作成したDVDで、「今そこにあるユニオン」の略です。神奈川労連の定期大会第1日目にも上映したそうですから、ご覧になった方もいらっしゃるでしょう。

DVDの出来栄は素晴らしいもので、地域労組の意義がよくわかる内容でした。また交流会では、意外な人たちが地域労組に関わっている事を知り、多くの経験を聞く事ができました